

面積の単位換算早見表

【畝・反・町→㎡→坪】

1反=991.736㎡=300坪(1反=10畝=0.1町)

畝	反	町	㎡	坪
0.1	—	—	10	3
0.5	—	—	50	15
1.0	0.1	—	99	30
5.0	0.5	—	496	150
10.0	1.0	0.1	992	300
20.0	2.0	0.2	1,984	600
30.0	3.0	0.3	2,975	900
40.0	4.0	0.4	3,967	1,200
50.0	5.0	0.5	4,959	1,500
60.0	6.0	0.6	5,950	1,800
70.0	7.0	0.7	6,942	2,100
80.0	8.0	0.8	7,934	2,400
90.0	9.0	0.9	8,926	2,700
100.0	10.0	1.0	9,917	3,000

【a→㎡→ha】

1a=100㎡ 1ha=10,000㎡(1ha=100a)

a (アール)	㎡	ha (ヘクタール)
0.1	10	—
0.5	50	—
1.0	100	—
5.0	500	—
10.0	1,000	0.1
20.0	2,000	0.2
30.0	3,000	0.3
40.0	4,000	0.4
50.0	5,000	0.5
60.0	6,000	0.6
70.0	7,000	0.7
80.0	8,000	0.8
90.0	9,000	0.9
100.0	10,000	1.0

【畳→㎡→坪】

1畳=1.65289㎡=0.5坪

畳	㎡	坪
0.5	1	0.25
1.0	2	0.50
2.0	3	1.00
3.0	5	1.50
4.0	7	2.00
4.5	7	2.25
5.0	8	2.50
6.0	10	3.00
7.0	12	3.50
8.0	13	4.00
9.0	15	4.50
10.0	17	5.00
15.0	25	7.50
20.0	33	10.00
30.0	50	15.00
40.0	66	20.00
50.0	83	25.00
100.0	165	50.00

■世帯員メモ欄

	1枚目				2枚目	
	1人目の世帯員	2人目の世帯員	3人目の世帯員	4人目の世帯員	5人目の世帯員	6人目の世帯員
氏名						

世帯票の何番目に誰のことを記入したかをメモしておいてください。

調査票に記入もれなどがあった場合は、確認のため市区町村からおたずねしますので、その際にご活用ください。

〈 全国家計構造調査 〉



世帯票の記入のしかた



調査世帯の皆様には、ご面倒をおかけしますが、
皆様の暮らしに関わる統計調査であることをご理解の上、
調査票へのご記入をお願いいたします。
調査票にご記入いただく前に、本書をよくお読みください。

インターネットにより回答する場合は、
『インターネット回答システム利用ガイド』をご利用ください。

調査票の記入内容は、
統計をつくるためだけに使うもので、
その他の目的に使われることはありません。

「統計法」により、調査員をはじめ調査関係者が調査により
知り得た事項を他に漏らすこと、調査票を徴税など統計をつくる
目的以外に使用することは固く禁じられています。



- 記入いただいた内容についての秘密の保護には万全を期していますので、
ありのままを記入していただくようお願いいたします。
- 記入が終わりましたら、もう一度内容を確認、調査員の指示に従って提出してください。

月 日()

午前

午後

時 分ごろ

調査票の提出方法についてご不明な点がある場合や調査票の追加が必要な場合は、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

〈連絡先〉

()

調査の内容、調査票の記入のしかたなどについてわからない点がございましたら、調査員が訪問した際にご質問いただくか、右記のコールセンターにご連絡ください。

総務省統計局全国家計構造調査コールセンター

おかけ間違いのないようにご注意ください。

☎ 0570-55-0852

受付時間：午前8時～午後10時(土・日・祝日もご利用になれます)

*固定電話からおかけになった場合は、全国一律市内通話料金でご利用になれます。

*携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、03-6626-0960におかけください。(この場合、通常の通話料金がかかります。)



総務省統計局

調査票の記入にあたって

- 数字で記入する欄は、「数字の記入例」のように、の枠内に1文字ずつ、**右詰**で記入してください。
- 文字で記入する欄は、「文字の記入例」のように、の枠内に1文字ずつ、**左詰**で記入してください。
- 記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。ボールペンや万年筆は黒色でも使用しないでください。
- 世帯員が5人以上いる場合、現住居以外の住宅又は土地を4か所以上所有している場合は、必要とする枚数の世帯票をもらってください。
- 枠からはみ出したり、小さすぎたりしないように注意し、はっきりと記入してください。

〈○の記入例〉



〈数字の記入例〉



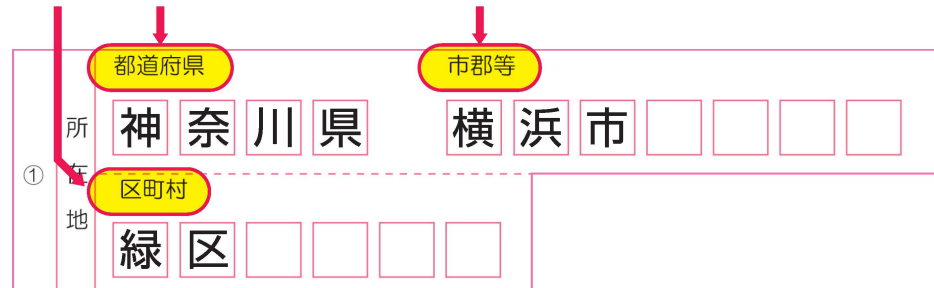
〈年の記入例〉

該当する元号又は西暦を選択した上で、年を記入してください。



〈文字の記入例〉

この箇所は、丸囲みをしないでください。

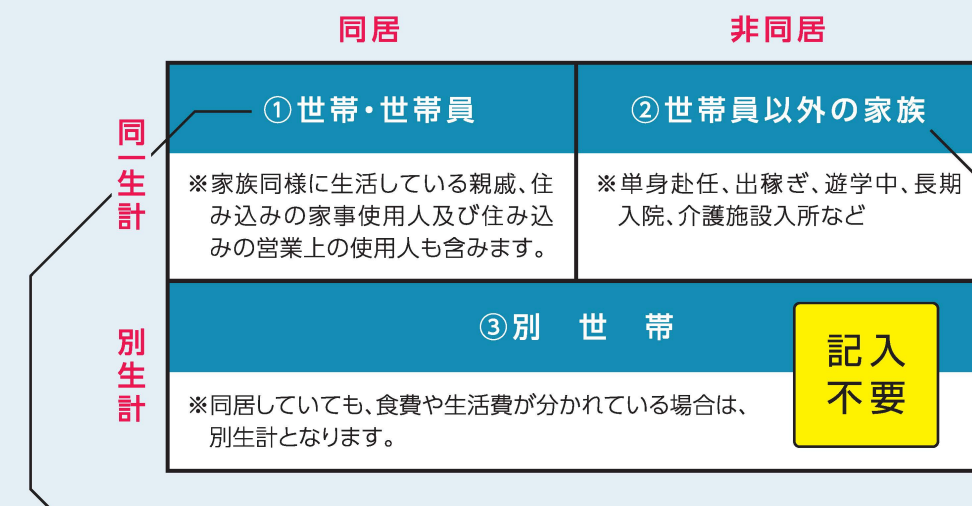


記入箇所について

世帯票の「Ⅱ 世帯員について」は**世帯員**について記入し、「Ⅲ 3か月以上不在の家族について」は**世帯員以外の家族**について記入してください。

単身赴任や学業のため寮生活をしている家族であっても、週末には帰宅するなど、週に1～2回定期的に帰宅している場合は、「3か月以上不在の家族」とはせず、「Ⅱ 世帯員について」に記入してください。

世帯の定義



I	世帯の人数について	①
II	世帯員について	①
III	3か月以上不在の家族について	②
IV	単身世帯について	①
V	現住居に関する事項について	①
VI	現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について	①
VII	毎月の家賃支払額、毎月の住宅ローンの返済額について	①

I～II 世帯員について

III～IV 該当者がいる場合に記入する事項について

V～VI 住宅及び土地に関する事項について

VII 毎月の家賃支払額、毎月の住宅ローンの返済額について

仕事の種類の記入のしかた

世帯の人数について

ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方の人数について記入してください。

I 世帯の人数について

ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。

☒ 3 人

(1) 世帯主との続き柄

家計上の主たる収入を得ている人を世帯主とし、1人目に記入してください。

II 世帯員について

[一緒に住んでいる世帯員について(1)から(9)欄に記入してください]

(1) 男女の別及び世帯主との続き柄	☐ 男 ☒ 女 ☐ 世帯主 ☐ 世帯主の配偶者 ☐ 子の配偶者 ☐ 世帯主の父母 ☐ 世帯主の配偶者の父 ☐ 母 ☐ 孫 ☐ 祖父母 ☐ 兄弟 ☐ 姉妹 ☐ 他の親族 ☐ 住み込みの雇人 ☐ その他
(2) 満年齢	☒ 3 ☐ 4 歳
(3) 配偶者の有無	☒ 配偶者あり ☐ 配偶者なし
(4) 就業・非就業の別	☒ 就業 ☐ 非就業 ☐ 雇用されている人 ☐ 左記以外の人 ☐ 正規の職員・従業員 ☐ 会社などの役員 ☒ パート・アルバイト ☐ 自営業主 ☐ 労働者派遣事業所の派遣社員 ☐ 家族従業者 ☐ その他 ☐ 内職 ☐ 仕事を探している ☐ 仕事を探していない

・「家計上の主たる収入を得ている人」が3か月以上不在の場合は、世帯員の中から代表者を選び、世帯主としてください

・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは、労働者派遣法に基づいて派遣されている人をいいます

・上記以外の派遣されている人(デパートの派遣店員など)は、派遣元の事業所における呼称について記入してください

・契約社員、嘱託などは「その他」に記入してください

(3) 配偶者の有無

届出の有無に関係なく記入してください。

(4) 就業・非就業の別

- ふだんの就業状態について記入してください。育児休業や病気休暇などで休業中の人は「就業」としてください。
- 「パート・アルバイト」とは、就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「パート」、「アルバイト」又はそれらに近い名称で呼ばれている人をいいます。
- 「家族従業者」とは、自営業主の家族で、その自営業主の営む事業を無給で手伝っている人をいいます。給料・賃金をもらっている方は、家族であっても、「雇用されている人」から選んでください。
- 「仕事を探している」とは、現在仕事がない人であって、かつ求職活動*をしている人、事業を始めるための資金、資材、設備などの準備・調達をしている人をいいます。

*求職活動…職業安定所(ハローワーク)に申し込む、新聞や情報誌などの求人広告に応募する、労働者派遣事業所に登録する、仕事の紹介を人に頼むなど

(5) ふだんの1週間の就業時間

「(4) 就業・非就業の別」で「就業」としている人について記入してください。就業規則などで定められている就業時間に関係なく、残業時間も含めた普段の1週間の実労働時間について記入してください。副業・内職・家業の手伝い・臨時の仕事・アルバイトなどをした時間もすべて含めます。ただし、自分の家の家事・無報酬の奉仕作業(ボランティア)などをした時間は含めません。

(6) 就学状況

- 学習塾・洋裁教室・料理教室・英会話教室や職員・社員の研修所、訓練所などは、ここでいう学校には含めません。
- 高等学校、短期大学、大学、大学院については、定時制やこれらの学校の卒業資格が得られる通信教育による課程も含めます。
- 外国の学校については、修業年限等により、それに相当する学校の区分に記入します。

Q 認定こども園に通っている場合はどれに該当するの?

A 認定こども園は、認定こども園〇〇幼稚園、認定こども園××保育園というように、幼稚園と保育園に分かれています。該当する方に記入してください。

専修学校・各種学校について

専修学校・各種学校については、右表に該当するものがある場合は、それに対応する選択肢に記入してください。なお、右表に該当しない場合は、直前の最終卒業学校(中途退学した人はその直前の卒業学校)について記入してください。

専修学校・各種学校		選択肢
専修学校 専門課程 (専門学校)	高卒を入学資格とするもの 修業年限3年の高等専修学校卒を 入学資格とするもの	専門学校 (当てはまる修業年限も記入 在学は現在の学年ではなく 修業年限を記入)
専修学校 高等課程 (高等専修学校)	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校・旧制中
各種学校	高卒を入学資格とする修業年限2年以上のもの	短大・高専・旧制高
	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校・旧制中

(5) ふだんの1週間の就業時間

- ふだん残業や副業をしている場合は、それを含めた1週間の合計について記入してください
- | | |
|---|-------------------------------|
| ☒ 15時間未満 | ☐ 40~48時間 |
| ☐ 15~29時間 | ☐ 49~59時間 |
| ☐ 30~34時間 | ☐ 60時間以上 |
| ☐ 35~39時間 | ☐ 決まってい |
| | ☐ ない |
| | ☐ 休業中 |

(6) 就学状況

・学校に在学しているかどうかについて記入したうえで矢印に従って記入してください

・在学中の人はその学校について、卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください

・専修学校・各種学校に在学中又は卒業の人は『世帯票の記入のしかた』を参照して記入してください

在学中	卒業	未就学・その他
☐ 小学・中学 ☐ 高校・旧制中 ☒ 専門学校(修業年限) ☐ 1年以上2年未満 ☐ 2年以上4年未満 ☐ 4年以上 ☐ 保育園・保育所 ☐ 幼稚園 ☐ その他(乳児など)	☐ 短大・高専・旧制高 ☐ 大学 ☐ 大学院	